

# JOEMAY Environmental Report 2025

環境報告書

(2024.09-2025.08)



## 会社概要

株式会社ジョーメイは、新潟県新潟市に本社工場を構える総合印刷会社です。

創業以来、商業印刷・パッケージ印刷・販促物制作を中心に、  
地域に根ざした事業を展開してきました。

主力のオフセット印刷では、品質・納期に加え、  
環境配慮を重視した生産体制づくりに取り組んでいます。

東京オフィスでは、首都圏のお客様に向けた企画提案型の営業活動を通じて、  
環境負荷に配慮した印刷物や施策の提案にも努めています。

本社工場と東京オフィスが連携することで、地域密着と広域対応を両立し、  
持続可能な事業運営を推進しています。

会 社 名：株式会社ジョーメイ

所 在 地：新潟本社・工場 新潟県新潟市東区木工新町1193

東京オフィス 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル9F

従 業 員 数：76名(2025年度)※役員・パートを除く

売 上 高：17億円(2025年度)※決算月:8月

主要取引業種：家電メーカー、広告代理店、通販会社、官公庁 等

印 刷 方 式：オフセット印刷、デジタル印刷

主 要 設 備：菊全判8色機×1台、A全判4色機×1台、CTPシステム、断裁機、折機、製本ライン

## 代表メッセージ

株式会社ジョーメイは、創業以来、印刷事業を通じて地域社会の発展に  
寄与するとともに、環境に配慮した企業活動を推進することを重要な責務  
と考えてきました。

印刷業は、紙・インキ・エネルギーなど多岐にわたる資源を使用する産  
業であり、その特性上、環境負荷の低減は避けて通れない課題です。当社  
はこの現実を真摯に受け止め、持続可能な社会の実現に向けて、日々の業  
務の中で環境配慮を徹底する取り組みを進めています。

具体的には、省エネルギーの推進、廃棄物の削減、VOC(揮発性有機化  
合物)排出量の低減など、環境負荷を抑えるための活動を継続的に実施し  
ています。設備の見直しや作業工程の改善、社員一人ひとりの意識向上な  
ど、全社的な取り組みを通じて、環境に優しいものづくりを実現するための  
改善活動を積み重ねています。

2025年度には、損紙削減のための生産管理強化や、エネルギー使用量  
の最適化、環境配慮型資材の積極的な導入など、より実効性の高い施策  
を展開しました。これらの取り組みは、単なるコスト削減にとどまらず、品  
質向上や生産効率の改善にもつながり、企業としての持続的成長にも寄  
与しています。

今後も当社は、お客様・地域社会・従業員とともに、環境保全と企業活動  
の両立を図りながら、持続可能な未来の実現に向けて努力を続けてまいり  
ます。社会から信頼され、必要とされる企業であり続けるために、環境への  
取り組みをより一層強化していきます。

代表取締役社長 加藤 雄也



## 環境方針・環境マネジメント体制

株式会社ジョーメイは、環境保全を企業活動の重要課題と位置づけ、以下の方針に基づき環境負荷の低減に取り組みます。

### ■ 環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。
2. 資源の有効活用を図り、廃棄物の削減とリサイクルを徹底します。
3. 化学物質（インキ・洗浄剤等）の適正管理を行い、環境汚染を防止します。
4. FSC認証紙や植物油インキなど、環境配慮型資材の使用を推進します。
5. 環境関連法令を遵守し、適切な管理体制を維持します。
6. 環境マネジメントの継続的改善を行います。

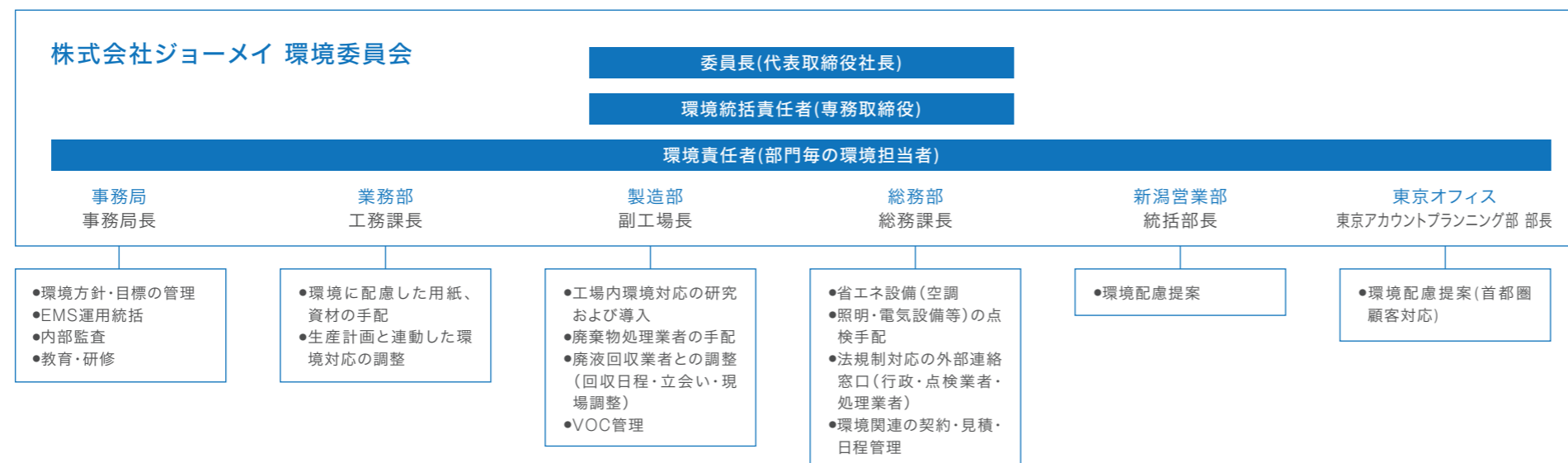
### ■ FSC-CoC認証取得

当社は、FSC® CoC認証(FSC® C173715)を取得しており、適切に管理された森林資源に由来する原材料を、認証基準に基づき取り扱う体制を整えています。これにより、持続可能な森林資源の利用促進に貢献する印刷サービスを提供しています。



### ■ 環境マネジメント体制

代表取締役社長を委員長とする「環境委員会」を設置  
環境委員会が主体となり、月次で改善活動を実施  
各部署に環境担当者を配置し、現場レベルでの改善を推進



## 2025年度の環境実績

### 【廃棄物排出量とリサイクル率(古紙・アルミ)】

第30期(2024年度)

品目	排出量(t)	再資源化量(t)	リサイクル率(%)
古紙	231	226	97.8
アルミ版	11	11	100

第31期(2025年度)

品目	排出量(t)	再資源化量(t)	リサイクル率(%)
古紙	248	242	97.6
アルミ版	13	13	100

### 【電力使用量とCO<sub>2</sub>排出量】※排出係数=0.4

	第30期	第31期
使用量KWh	567,241	560,835
CO <sub>2</sub> 排出量 t-CO <sub>2</sub>	227	224

### ■ 古紙リサイクル率

排出量は248t、再資源化量は242tでリサイクル率は97.6%となりました。

### ■ アルミ版リサイクル率

100%リサイクルが継続しています。

### ■ 電力使用量

2025年度は560,835kWhとなり、前年から1.13%の削減を達成しました。工場照明のLED化や空調管理の徹底が効果を上げています。CO<sub>2</sub>排出量224t-CO<sub>2</sub>となり、前年度から1.1%の削減となりました。電力使用量の削減が主な要因です。

### ■ 損紙率

2025年度は12.0%となり、昨年の10.0%を上回りました。印刷機の入れ替えに伴い、印刷予備紙の投入率が上がったことが要因です。

## 🌿 取り組み内容

### ■ 省エネルギーの取り組み

- デマンドモニター採用によるピークカット施策の実施
- 工場照明のLED化を完了
- 空調温度の適正管理(夏28℃・冬20℃)
- 印刷機の待機電力削減設定を最適化
- 太陽光パネルによる電力使用の組み込み

### ■ 紙ロス削減の取り組み

- 基準濃度による刷り出し調整の標準化
- デジタル色管理の導入による試し刷り削減

### ■ VOC削減の取り組み

- 低VOC洗浄剤の導入
- 植物油インキの使用比率向上(94%)
- 洗浄工程の見直しによる溶剤使用量削減

### ■ 廃棄物削減の取り組み

- 紙くずの分別強化
- アルミ版の100%リサイクル
- 廃棄物管理業者との連携強化

## 🌿 法令遵守・リスク管理

当社は、環境関連法令および各種規制を遵守し、適切な管理体制を維持しています。

### ■ 法令遵守

- 廃棄物処理法
- 消防法
- PRTR法
- 労働安全衛生法

2025年度において重大な法令違反はありませんでした。

## 🌿 今後の課題と展望

2026年度以降、以下の取り組みを強化していきます。

- 省エネ設備(空調・コンプレッサー)の更新検討
- デジタル色管理の高度化による損紙削減
- 環境配慮型資材の採用拡大
- 顧客への環境配慮提案の強化
- Web公開による情報透明性の向上

当社は、環境配慮型印刷の実践やFSC®認証紙の活用をはじめ、環境負荷の低減に向けた取り組みを継続して進めております。

これらの活動を通じ、地域環境の保全と

持続可能な社会づくりに寄与することを目指しております。

今後とも、皆さまのご理解とご支援をお願い申し上げます。



株式会社ジョーメイ

# JOEMAY

<https://www.joemay.co.jp>

新潟本社 〒950-0807 新潟市東区木工新町1193番地 TEL.025-272-0707 FAX.025-272-0717

東京オフィス 〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1東貨ビル9F TEL.03-6264-4123 FAX.03-6264-4124

Things [www.things-niigata.jp](http://www.things-niigata.jp)

まいぶれ にいがた [www.niigata.myppl.net](http://www.niigata.myppl.net)